

音 × AI の スペシャリスト

人工知能を活用して音を可視化する

【補足説明資料】

下水道インフラ分野への事業展開を本格化
— 広島県福山市における実証事業の採択 —

2026年10月2日

下水道インフラの一般的な課題

老朽化の進行により、点検・維持管理が困難に



① 老朽化・腐食

管路の老朽化・腐食により
道路陥没などのリスク



② 危険な作業環境

硫化水素 (H₂S) などにより
人の点検は安全面でリスク



③ 点検・維持の負担

膨大な管路を限られた
人員・予算で点検するのは
困難

福山市が抱える具体的な課題

The Meet 2026で提示されたテーマ

広島県 福山市



下水道管の無人インフラ点検・診断

人が入らず、下水道管内の状態を把握したい



硫化水素・転落等の危険

人が入らずに状態を把握



管路の劣化・損傷

道路陥没等の事故を
未然に防ぎたい



水位上昇・閉塞等

豪雨時の水位上昇や
堆積物・油脂等のリスクを把握

The Meet 2026での採択

Hmcommの提案が採択され、実証事業を開始

The Meet 2026

広島オープンアクセラレーター
Gov-Tech-Challenge



下水道の腐食リスクをAIで可視化

重点点検の実現を支援



広島県福山市において
実証事業を開始



下水道の社会課題に対し、AI・データを活用した重点点検・予防保全の実現へ

広域予測×ピンポイント調査による漏水発見

守山市で実証した上水道のリスク予測・重点点検



高リスク地点を
抽出



 滋賀県守山市 × 実証実験

抽出した高リスク地点を対象に、ピンポイントな現地調査を実施
実際に複数箇所でも漏水を発見・確認
(琵琶湖沿岸部・郊外等を含む)

広域分析×音響AIの有効性を確認

➡ 上水道で培った仕組みを、下水道の腐食リスク予測へ展開

- ✓ AIにより広域から「漏水リスクの高い地点」を抽出
※ 過去データに対する高リスク地点の分類精度： **約81%**
- ✓ 漏水音解析により漏水・非漏水を高精度に分類
※ 現地計測データに対する分類精度： **約92%**

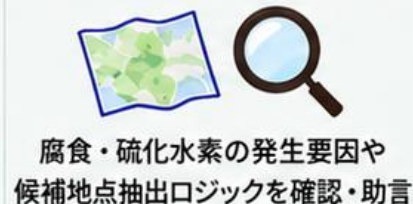


技術監修

日本大学
森田 弘昭
特任教授

実証全体を横断して技術監修・助言

広域分析ロジックへの助言



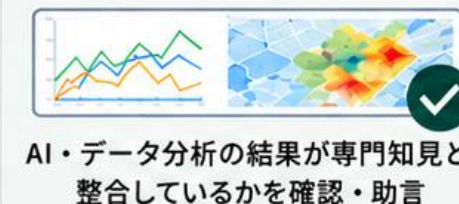
硫化水素発生ロジックの確認



腐食リスクとの関係性を確認



解析結果のレビュー



データと現場・専門知見を融合し、腐食リスクの早期把握と予測精度向上を目指します



実証スケジュール (2026年10月～2027年3月)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
 データ整理・広域分析						
 現地確認・開始時調査						
 機器設置・継続計測						
 終了時調査・機器撤去						
 データ分析・AI検証						
 結果整理・成果報告						

※実証地点2箇所に同一構成の計測機器を設置し、並行して継続計測を実施します。

★ 成果発表会



今後の展開



「探す」から「防ぐ」へ。下水道の重点点検・予防保全を支援

- 本資料は、当社の事業内容や業績等に関する情報提供を目的として作成されたものであり、有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する判断は、ご自身の責任にて行っていただきますようお願いいたします。
- 本資料には、いわゆる「将来の見通し(forward-looking statements)」が含まれる場合があります。これらは、現在入手可能な情報および合理的と判断される前提に基づいて作成されたものであり、不確実性を含んでおります。
実際の業績等は、記載された見通しとは大きく異なる可能性があります。
- なお、当社は将来の見通しに関する記述について、新たな情報や将来の事象に基づいてこれを更新または修正する義務を負うものではありません。